

龍安をめぐ

おいごのこゝろをめぐりてくる人垣 斗流

寒聲乃もれ西風くおれに茶 李風

空中也氷もたうれて落る沙 文瓜

ひきき片りり所れ木の葉も 巴水

流りあがりりるき河心系 少年 斑狸

荊残ふ若也氷る月夜半 龍子

冬空や松も雪し氷れを 自我

軍れ戸も雪に女の髪を掃く 古律

帰るる水も雪しん川影 深文

卯を